

2023年度 卒業制作

若者にミニシアターの魅力を伝える雑誌の制作

金城学院大学 国際情報学部 国際情報学科
メディアスタディーズコース
2052011 伊藤舞佳

1. 作品概要

若者世代にミニシアターのことを知ってもらい、その魅力を伝えるための雑誌制作。

2. 背景

2020年から猛威を振るった新型コロナウイルスによって、映画業界は大きな影響を受けた。その中でもミニシアターはその経営規模の小ささから、一般的なシネマコンプレックスと比べ経営状態への影響が凄まじく、観客ゼロの回が出てしまう劇場や休館に踏み切る劇場が続出した。(図1)

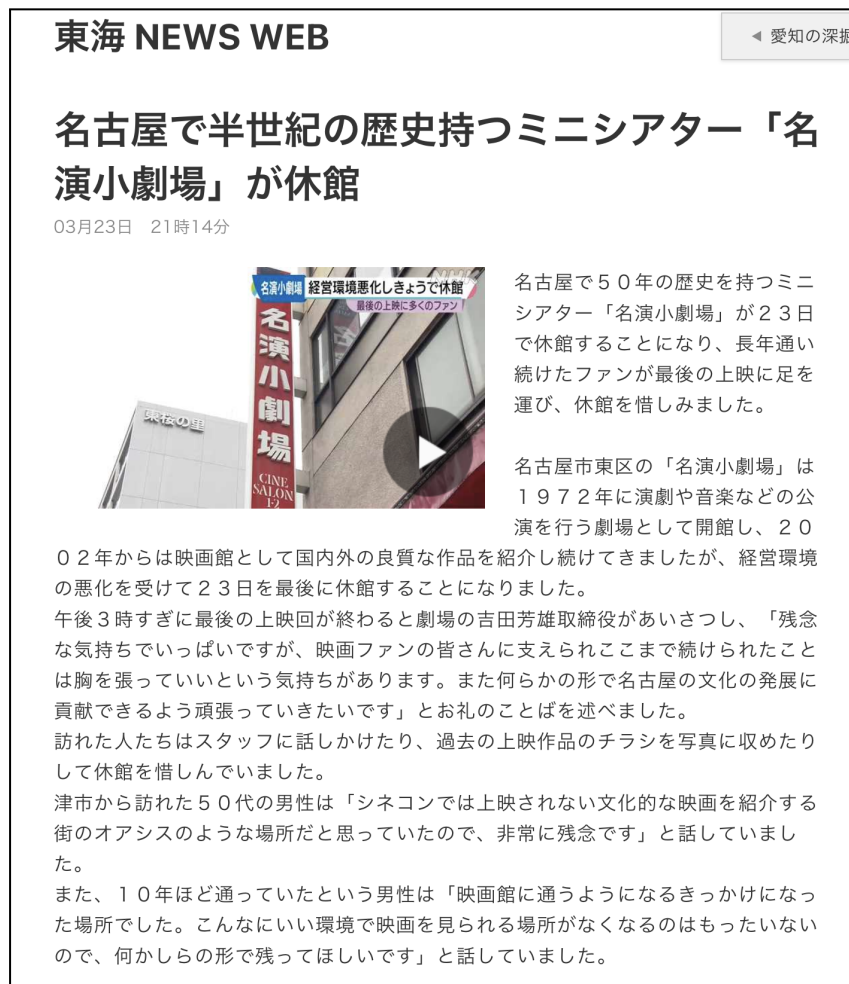


図1 名演小劇場 休館のニュース

<https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20230323/3000028289.html>

そんなミニシアターという場所の存在を私は3年時に初めて知った。そして同年7月に初めて名古屋にあるミニシアター「シネマスコーレ」と「名古屋シネマテーク」を訪れた。その際、私以外の観客が全員親世代以上の年齢層であったことから自分のような若者世代にはあまり馴染みのな

いものであると実感した。今回、10~20代を対象に実施した事前アンケートからもその現状が明らかになった。(図2~4)

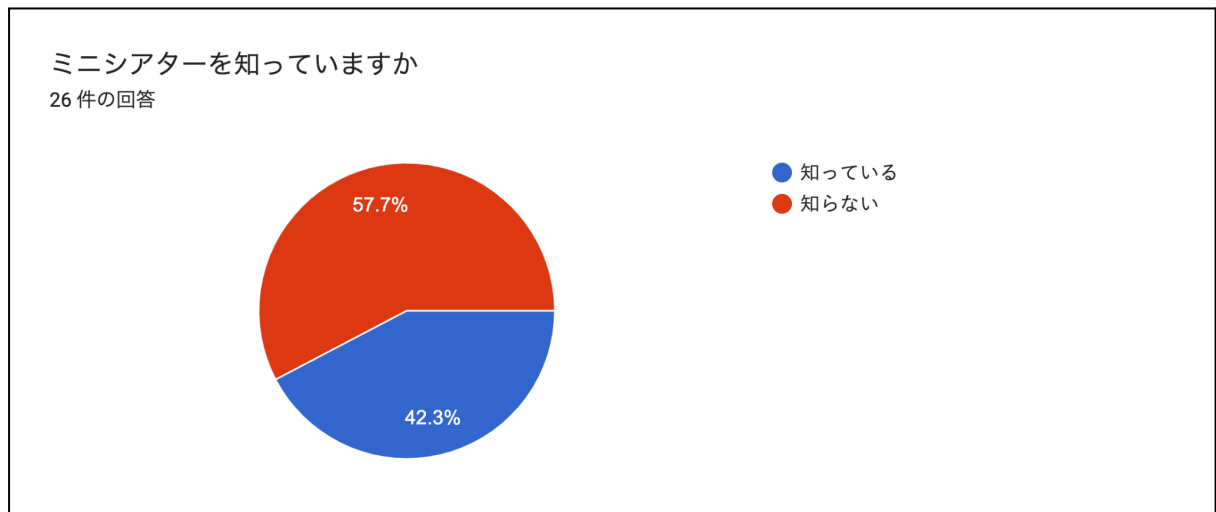


図2 事前アンケートの結果1

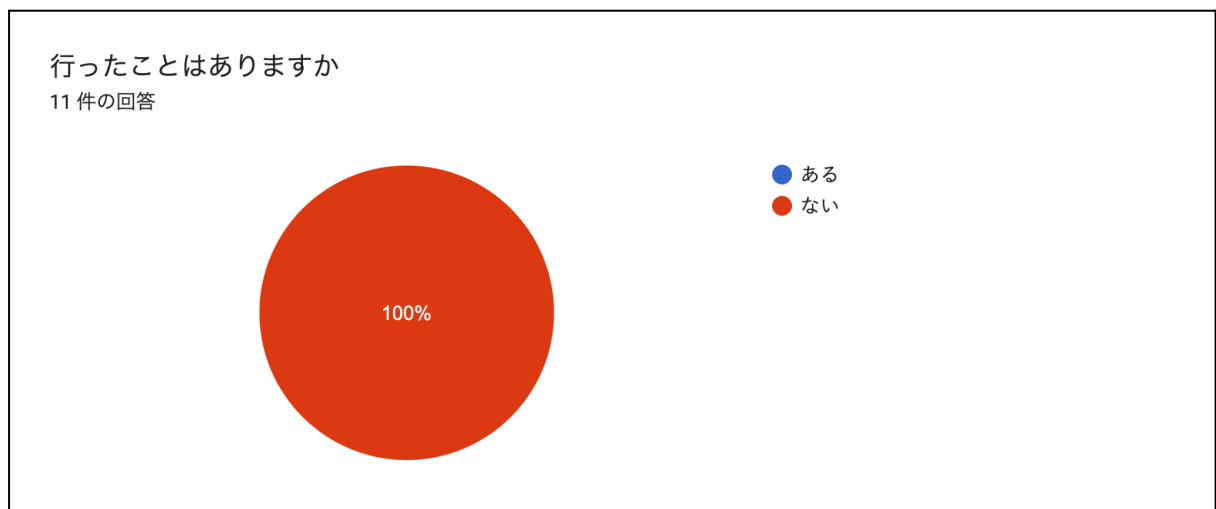


図3 事前アンケートの結果2

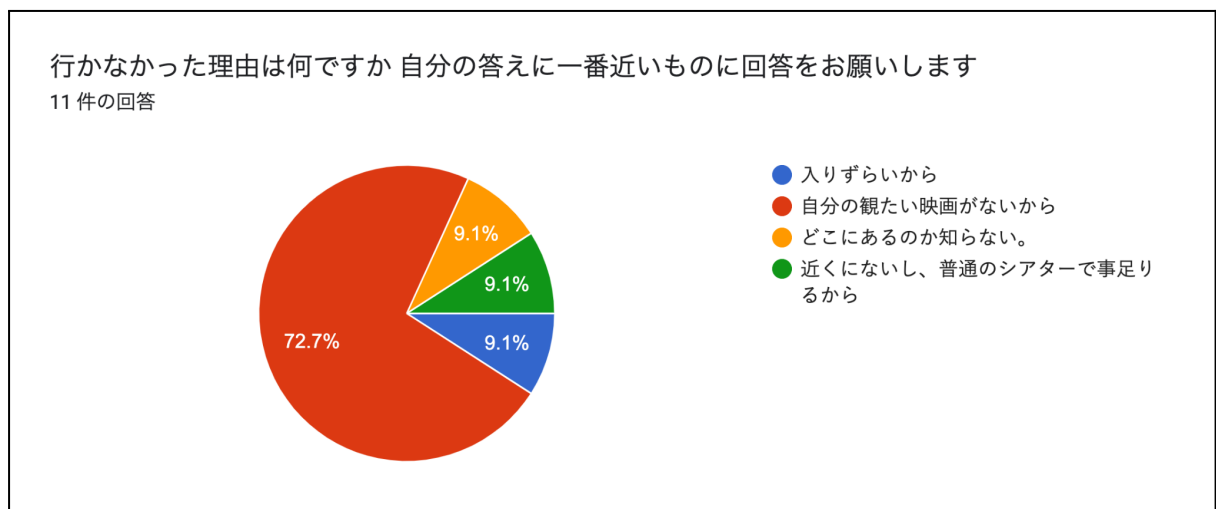


図4 事前アンケートの結果3

アンケートの結果、以下のことが分かった。

- ・ミニシアターの知名度は一定数ある
- ・ミニシアターを知っていても実際に訪れるまでに至っていない
- ・行かなかった理由の7割が「自分の観たい映画がないから」

3.目的

本制作の一番の目的は、若者世代にミニシアター自体を知ってもらうだけでなくその魅力を伝えることである。また、雑誌を読んでもくれた人に実際に行きたいと思わせ足を運んでもらうことを最大のゴールとする。

4.手法

InDesignを用いて雑誌の制作を行った。この手法を選んだ理由は2つある。1つ目は、ポスターでは伝えられる情報が制限されてしまうからである。そして論文では、文字情報が多すぎて情報が整理できないと思ったからである。以上から、今回ターゲットとする若者世代に親しみやすく見やすく知ってもらうためには雑誌という手法が最適だと考えた。雑誌のサイズは、気軽に手に取ってもらいやすいように小さめのフリーペーパーをイメージしA5サイズで制作した。

また、情報を収集するにあたり本やインターネットを用いるだけでなく、名古屋にあるミニシアター「シネマスコーレ」と「大須シネマ」に伺いインタビューも行った。

目的が達成されたかを確かめる手段として、実施に作品を見てもらい10代~20代を対象に再度アンケートを実施し目的が達成できたかを判断した。

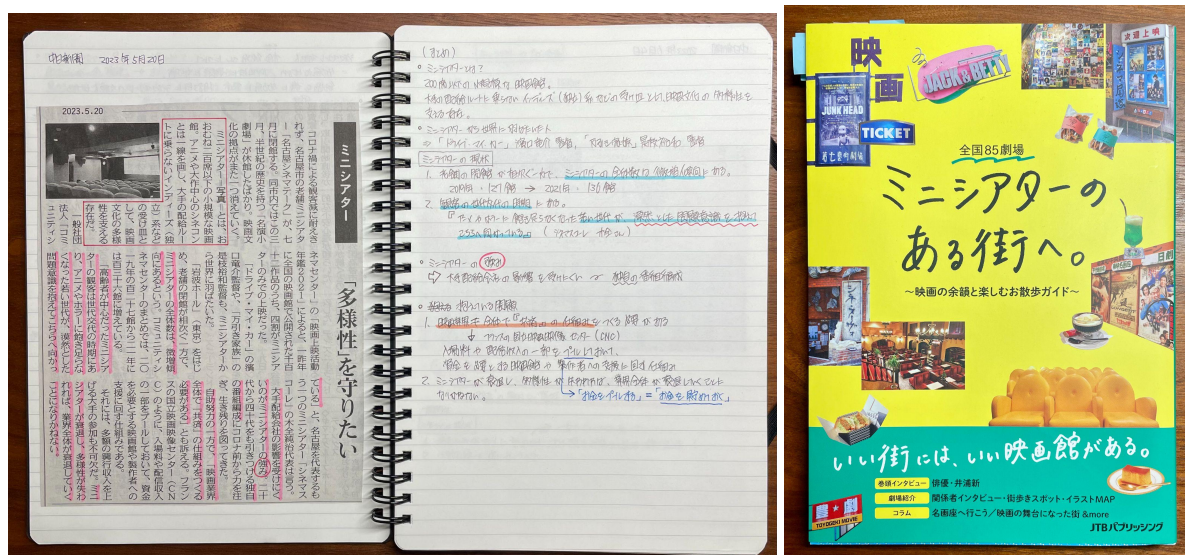
5.制作過程

1)テーマを決定

「映画」を自身のテーマとして3年時に制作に取り掛かる中で、父からミニシアターという施設の存在を聞かされたことから興味を持ち、実施に足を運んだ際この施設のこともっと知りたい・もっと若者にも広められないかと思い卒業制作のテーマとして取り上げることを決めた。

2)情報収集

自分自身のミニシアターに関する知識を蓄えるために、インターネット・本・新聞・テレビ番組などから情報を集めた。(図5,6)



写真左: 図5 『中日新聞』2023年5月20日付のものから収集開始

写真右: 図6 『全国85劇場 ミニシアターのある街へ ~映画の余韻と楽しむお散歩ガイド~』2021年,JTBパブリッシング発行

3)事前にアンケート調査を実施

雑誌の制作にあたり、若者のミニシアターに対する認知度や興味を知るためにGoogleフォームを用いて事前アンケートを実施し、26件の回答を得ることができた。

ミニシアターに関するアンケート

こんにちは！
金城学院大学 国際情報学部 国際情報学科 4年 伊藤舞佳です。
卒業制作に関するアンケートにご協力お願いします。
集計した内容は卒業制作で雑誌を制作する際に使用します。
よろしくお願いします。

あなたの年齢を教えてください *

☐ 10代

☐ 20代

ミニシアターを知っていますか *

☐ 知っている

☐ 知らない

図7 事前アンケート

4)アイデア出し

大まかな雑誌構成、デザイン、ページの割り付け、インタビュー内容を考えた。

(図8~12)

雑誌のテーマ ⇒ ミニシアターを若者に伝わる雑誌制作

① ミニシアターとは？ → 全く知らない人も分かるように
・ミニシアターって何？
・ミニシアターは身近なところにある！
・長年、地域の文化に愛される場所！（or ~ 愛される！それがミニシアター！）

② ミニシアターの歴史：長い歴史があるんだ。
③ 観覧方法：チケット、料金、観覧時間、自由席など。
④ ミニシアターとは？：ミニシアターって何？
・ミニシアターの現状

雑誌の構成 ⇒ A5? (A4の雑誌) : 雑誌の構成
ミニシアターの紹介 : ミニシアター
ミニシアターの紹介 : ミニシアター
ミニシアターの紹介 : ミニシアター

1/5

図8 アイデアメモ1

② 名古屋にあるミニシアター → 前PDPで作った名古屋市の地図使用

・ 見開きで紹介する → 実際には177H1余白で判断する

① 載ゆ情報

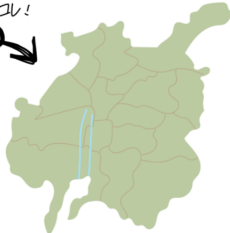
- 1. 基本情報
 - 住所
 - TEL
 - アクセス
- 2. 特徴
 - 外観の特徴 → ラウロとボタがバリエーション!!

777H1の巻末部分に記入!! (きれいに)

2. 外観の写真

↑

① 実際には177H1で撮ったものを写真使用!!



☆ 47H1(外装)に使う

↳ PDPで作ったものを使用します





[illegible]

② オリジナルを出す部分

■ 目が飛び出る!!! 知らない!!!

◦ ミニマムで地球史の作品は「仮説タイプ」の映画。
一般的なシナリオで地球史のものは「探検」タイプの映画。

◦ やはり「最近の若者」→ 「はい、知らん」情報 社会を 避けて 観るから。

正直、花巻問題が比較して作品は「アサヒ、おもしろい」が見える(疑問?)
若者が好む映画作品は、「探検」タイプの映画
アサヒ、鳥獣、凶犯、パズル、異世界の探検など

映画はおもしろい / おもしろくない の基準 何で決まる!!!

でも... 「仮説タイプ」の1つではある!!

ミニマムの 役割

これは70%の考察と見入る!!

◦ ミニマムは、常識 上で 考えられる 可能性 がある!! (数十年前に!!)

(例) 未来テレビ
・「探検」を 受け入れ たい。
・ 探検 番組の 基盤は「仮説」がおもしろいと思ふ 映画 地球物語

★ ミニマムの 役割。 今昔で変化する!!!

図11 アイデアメモ4

いいたい意見

- 施設にカメラを付ける、写真などを載せるページ作ってもいいかも！
↳ 撮影も写真活用も!!

構図も & 企画リスト ✓

予定期

表紙

表紙開いた時の記 ⇒ ミニシアターをテーマにした雑誌 (父の開いた & 映画撮影の雑誌への参照)

そのとけり (2ページ) ⇒ わかり易く、Pの仕組みの内部を分かり易く書く

見開き ⇒ 「地域の文化を伝える場所！それがミニシアター！」 ⇒ ① 参照

見開き ⇒ 「何となくあるミニシアター」

見開き ⇒ 劇場運営と開館の仕組みをミニシアターの観点から

最後 ⇒ 自分が考えた、施設をいかに

（おかげで... ミニシアターの現状と今後の展望）

5/5

図12 アイデアメモ5

5)インタビュー調査の実施

7月～10月にかけてミニシアターへのアポ取り、許可をいただいたミニシアターへのインタビュー調査を実施した。名古屋シネマテーク、シネマスコーレ、三越映画劇場、大須シネマの4つの映画館にアポを取り、その中でシネマテークと大須シネマにアポを取ることができた。

インタビューの内容は、

- ・ミニシアターとの出会いについて
 - ・おすすめのミニシアター作品
 - ・ミニシアターの今後について
- 必ず伺うことを上記3つと決め、後はお話を伺いながら内容を広げていった。

6)雑誌構成、印刷を依頼する印刷会社の確定

Notionを用いて雑誌の構成を書き出し、順番に手を付けていった。

Aa 構成		☀ ステータス	+	...
表紙		● Done		
表紙開いて次のとこ		● Done		
↑そのとなり（目次！）		● Done		
見開き 1	ミニシアターってこういう場所です。	● Done		
見開き 2	名古屋にあるミニシアター	● Done		
見開き 3 インタビュー	劇場運営に携わる方に伺ったミニシアターのあれこれ	● Done		
見開き 4（最後のまとめ・自分が考えたこととか）		● Done		
裏表紙の前（協力していただいた方の名前とか載せる）		● Done		
写真ギャラリー的なページ		● Done		
裏表紙		● Done		

図13 雑誌構成をまとめたNotionのページ

雑誌の印刷を依頼する印刷会社は、予算と発注してから届く速さから検討した結果、冊子製本キングに依頼することにした。雑誌の構成は、A5サイズ・右綴じ・中綴じ。ページ数は印刷会社のデータ作成ガイドに基づき、24ページ（4の倍数）とした。

7)データ作成開始（使用ソフト:Adobe InDesign）

デザインがシンプルかつポップな印象になるように作成した。読む人が飽きないよう各内容ごとにテーマカラーを設けたり題名のフォントを変えるなどして工夫した。テーマカラーの配色はColour Palette Generatorを使用し提案された配色の中から、P4~5には「#CF6F63」、P6~7には「#2B8C8B」、P20~21には「#F4E0BE」を使用した。

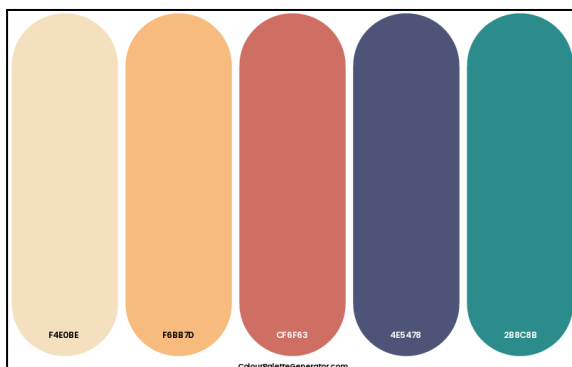


図14 Colour Palette Generatorで提案された配色

また、統一感が出るように基本的に使用するフォントをヒラギノ角ゴ Proと筑紫A丸ゴシックの2種類に統一した。

8)P4~5:ミニシアター紹介ページの作成



図15 P4~5のページデザイン

様々な情報の中でも読者が触れやすいと思った基本情報・特徴・歴史と3つの分野に絞って取り上げた。

工夫した点は2つある。1つ目は、それぞれの内容ごとにキャッチコピーを付けたことである。細かい文章だけでは読む気が失せてしまう、また単に「歴史」「基本情報」などと書くだけではつまらないと思い、あえてキャッチコピーにし読者にそれを見て「内容が気になる」と思ってもらようにした。2つ目は、内容の切れ目ごとに点線を入れ、デザインとしての用途だけでなく、どこまでその内容の事が書かれているか読者がひと目でわかるようにしたことである。これにより、読者の読みやすさに繋がった。

9)P6~7: 名古屋にあるミニシアターの紹介ページの作成



図16 P6~7のページデザイン

「ミニシアターは身近なところにある」ということを感じてもらいたいと思い、日本全国にあるミニシアターの中でも現在自分が住んでいる名古屋市内にあるものをピックアップして取り上げた。

ここでの工夫点は3つある。1つ目は、それぞれの映画館の説明を互い違いに配置したことである。これにより、読む際に様々なところに視線が行くようにし飽きないようにした。2つ目は、今回インタビューを行った映画館の情報をこのページでは一言説明だけにしたことである。このページでの説明のみになってしまう映画館の情報量とのバランスを考えてということもあるが、この先のインタビューページも是非読んでいただきたいと思いますそのようにした。3つ目は、ページ中央に名古屋市の地図のイラストを目立つように配置したことである。本制作は雑誌であるため、どうしても文字ばかりになってしまうことから、このページはイラストを大きめに取り入れ他のページとのメリハリを持たせた。

10)P8~19: インタビューページの作成



図17 シネマスコーレのインタビューページ

本文は、インタビュー時に許可をいただき録音したものを文字に起こし調整して掲載した。あえて自分の受け答えも載せ、文字だけでインタビュー時の空気感が伝わるようにした。ここで工夫した点は2つ。1つ目は本文の余白に柱を配置したことである。インタビューページは8ページから19ページとかなりボリュームがあるため、どこまでがインタビューの内容なのかひと目でわかるようにした。2つ目は、文字だけのページにワンポイントを加えたことである。文字だけでは読者の読む気が失せてしまうだけでなく、視覚的にも圧迫感が出てしまうと思い、内容の邪魔にならない範囲で透明度を20%に下げ基本のぼかし効果も入れ散りばめた。

また、こだわった点は3つある。1つ目は、シネマスコーレと大須シネマそれぞれのページのタイトルとして、インタビュー時に話してくださった言葉を取り入れたことである。例えば図17のシネマスコーレのページでは『常に好奇心を持つ気持ちを忘れないでほしい』という部分にあたる。この言葉はインタビューの中でキーワードであると思った言葉であり、インタビューに協力していただいた方の想いがこの言葉に込められていると感じたため、タイトルとして取り入れた。2つ目は、工夫した点として上記にも挙げたワンポイントである。シネマスコーレは外観の様子から四角形に、そして日除けの黄色と「上映中」の看板の緑色をイメージしたものを、大須シネマはロゴの雰囲気から丸を、色はいただいた名刺(図18)の色から紫・青・緑を取り入れた。これにより、それぞれのミニシアターのイメージを取り入れることができたのではないかと感じている。3つ目は、Photo Galleryとしてページの最後に写真を載せるコーナーを設けたことである。自分で撮影した写真に、フリー素材の吹き出しと一言コメントを添えてミニシアターの様子を紹介するページとした。また、矢印などのワンポイントも載せることによって、見ていてワクワクするような見た目にした。(図19)

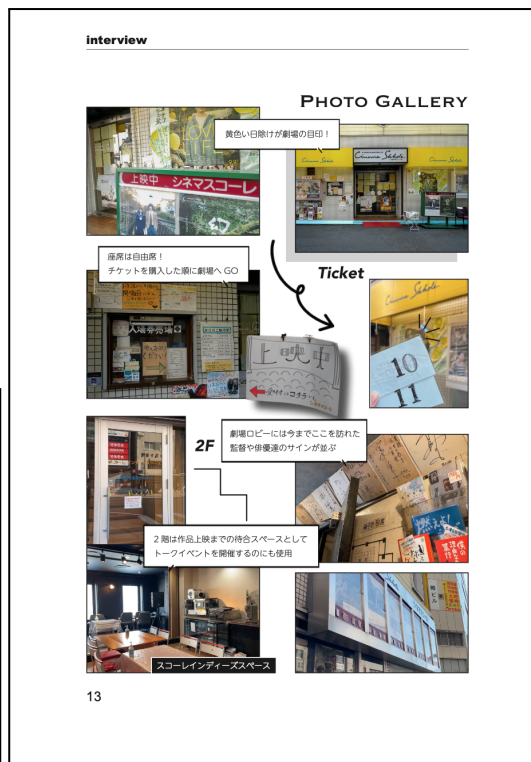


図18 写真左:色を参考にした大須シネマの名刺

図19 写真右:シネマスコアのPhoto Galleryのページ

11)P20~21:コラムの作成



図20 P20~21のページデザイン

このページは雑誌のオリジナリティを出す部分としての役割を担っている。内容は卒業制作を通して自分が感じたことや伝えたいことである。内容が端的に伝わるよう、4つに項目を絞りさらにブロックごとに分かれたデザインにした。文字ばかりとなってしまうため、当初は作品の紹介欄に写真を使用する予定だったが著作権の関係から断念し、その代わり全ての項目にその内容に当てはまるフリーイラストを挿入しデザインを統一させた。

12)写真ギャラリーページの作成



図21 写真ギャラリーページ

このページは何を掲載しようか内容に悩んでいる際に、『今回撮った写真を載せるギャラリーのようなページを作ればいいのか』という意見をいただき、それを採用させていただいたものである。この卒業制作のために撮影した写真は多くあり、個人的にも気に入っていたため、写真を活用できて良かったと感じている。おまけページとして作ったため、あえて目立たないようモノクロ加工を加えている。

13)P2~3:まえがき、目次ページのデザイン確定

まえがきページは、当初は四角形の枠で囲ったシンプルなデザイン(図22)にしていたが、シンプルすぎるという意見をいただいたため修正した。映画をテーマにしていることから、映画らしさを感じさせるフィルムのデザインを作成し、まっすぐ配置すると締まりのない印象になったことから、斜めに角度を付けた。(図23)

目次ページは当初は横書きにしていたが、本文が縦書きメインであることから縦書きに修正し、文字の大きさにも修正を加えた。

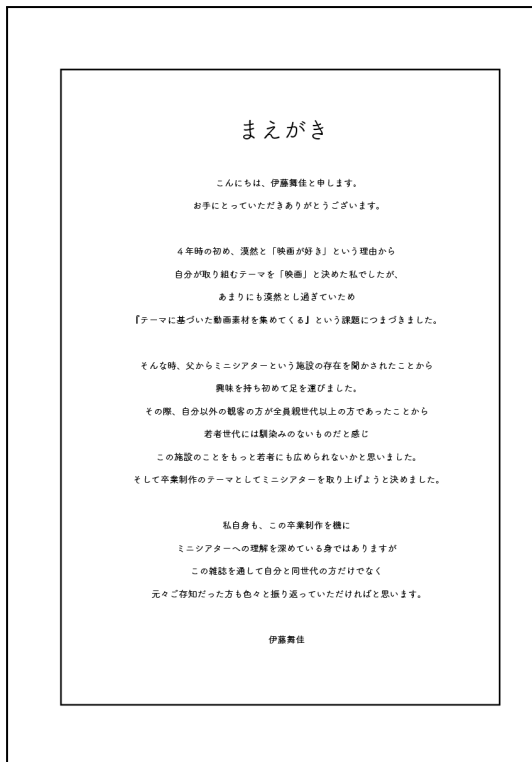


図22 修正前のまえがきデザイン

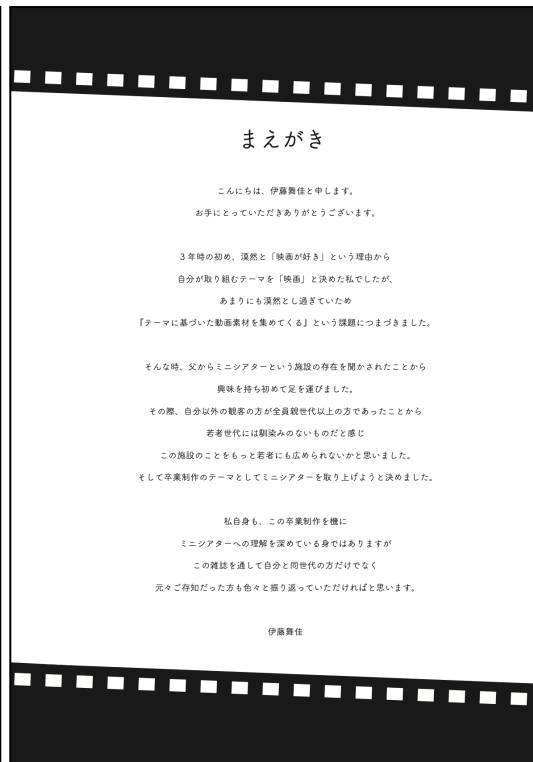


図23 修正後のまえがきデザイン作成の様子

14)表紙の作成

表紙は雑誌の顔になることから、一番悩んだデザインである。当初は、大きなテーマとして「映画」を掲げていることから劇場の幕やフィルムをイメージしたデザイン(図24,25)で制作しようと考えていたが、本文のデザインとのバランスなどから考えた結果、最終的に写真を使用したシンプルなデザインに決定した。

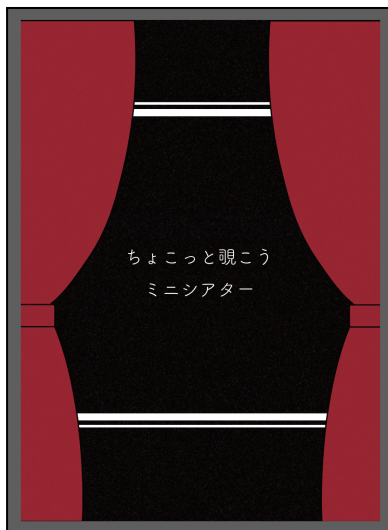


図24 表紙デザイン案1

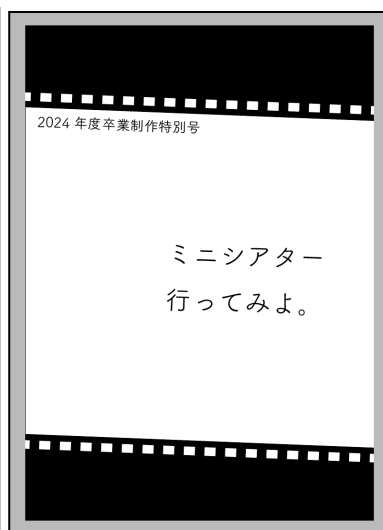


図25 表紙デザイン案2

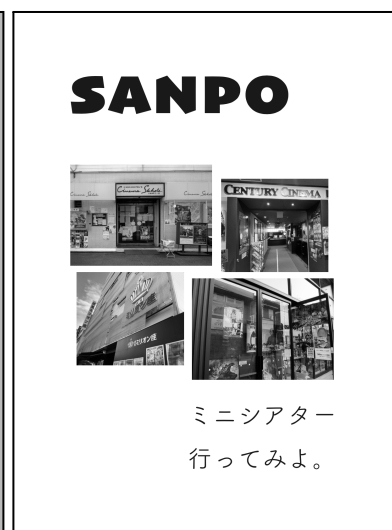


図26 最終的な表紙デザイン

表紙に使用している写真は、シネマスコーレ・センチュリーシネマ・伏見ミリオン座・大須シネマであり、これらは閉館が相次いでいる状況下でも現在もなお活動している名古屋のミニシアターである。今名古屋にあるミニシアターはこの4つということを出したいと思ったためこの4館の写真を使用した。

また、題名をSANPOとした理由は、「歩く」を意味する言葉の中でも「散歩」は「気晴らしや健康などのためにぶらぶらと歩くこと」という意味であり、「行ってみよう」という軽い気持ちで散歩がてらミニシアターに行ってほしいという思いを込めて付けたものである。副題として「ミニシアター行ってみよ。」という言葉を添えている理由も同じである。

15)印刷

データが全て完成したため印刷を依頼した。印刷所のデータ作成ガイドに基づき、塗り足し設定の確認と全ページのフォントのアウトライン化を行い、データのファイル名を半角英数に設定し入稿した。以下はその際行った書き出しの設定と、印刷所への注文内容である。

【書き出し設定】

- ・PDF書き出しプリセット:[PDF/X-4:2008(日本)](変更)
- ・標準:PDF/X-4:2010
- ・互換性:Acrobat 7(PDF 1.6)
- ・ページ書き出し形式:ページ
- ・倍数,レイアウト:デフォルト
- ・トンボと裁ち落とし:すべてのトンボとページ情報を書き出す
- ・裁ち落としと印刷可能領域:ドキュメントの裁ち落とし設定を使用

【印刷所への注文内容】

- ・A5中綴じ冊子
- ・紙種 本文,表紙:コート(標準90kg)
- ・色数 本文,表紙:両面カラー
- ・中綴じ
- ・24ページ

16)結果

完成した作品を読んでいただき、Googleフォームを用いて感想アンケートを実施した。全18件の回答のうち過半数から、この雑誌を読んでミニシアターに興味を持った、ミニシアターに行ってみたいと思ったという回答を得る事ができた。以下に詳細を記載する。

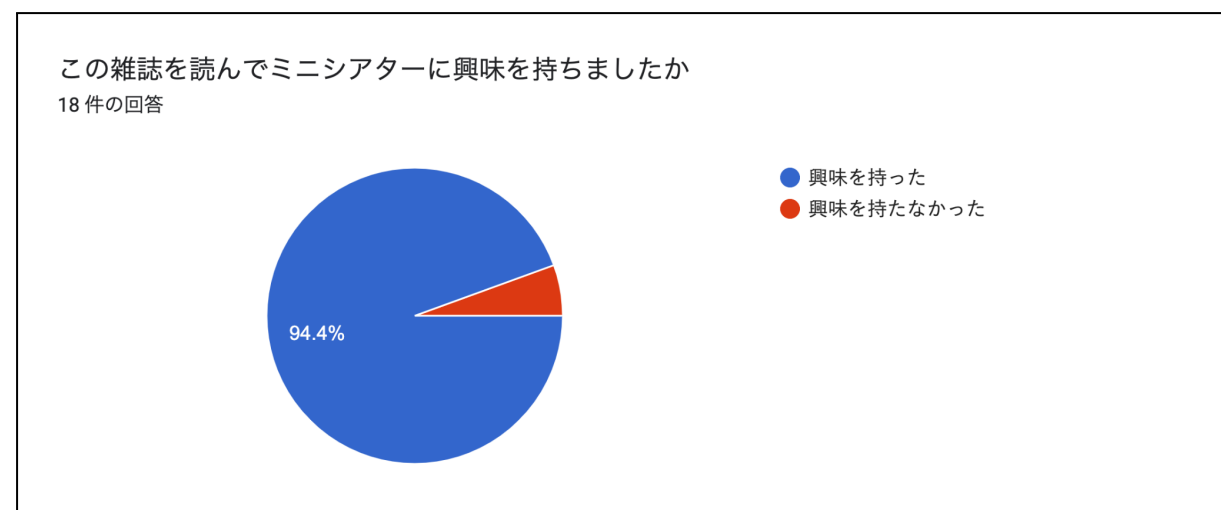


図27 アンケート結果1

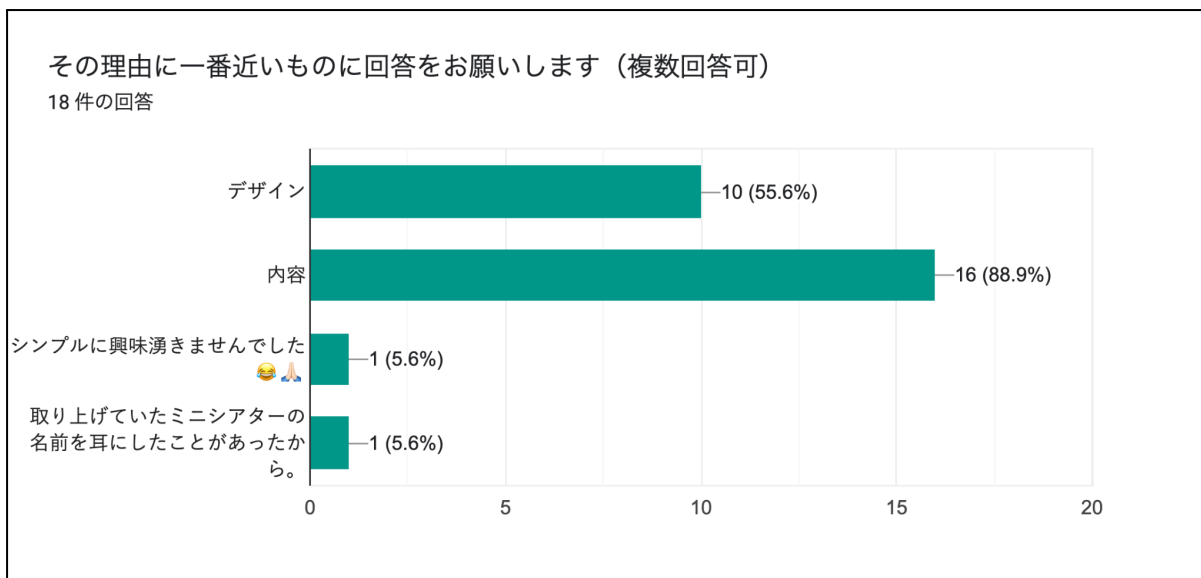


図28 アンケート結果2

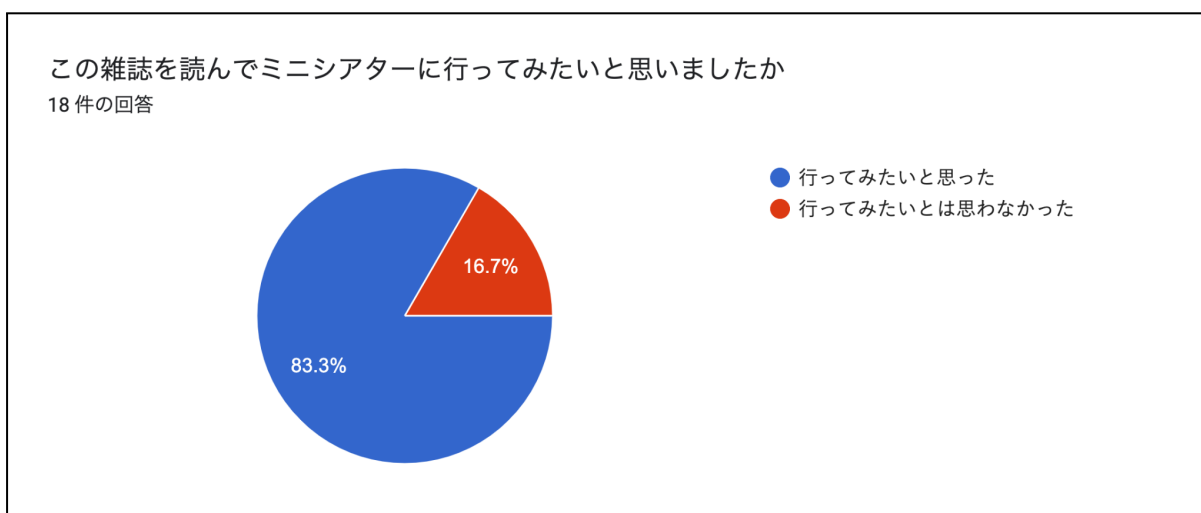


図29 アンケート結果3

この後の質問では図29の回答の理由を自由記述で伺った。いただいた意見を抜粋して以下に記載する。

【行ってみたいと思った意見】

- ・また違うものを鑑賞できる場があるから
- ・最近は映画を見る際はNetflixやアマプラなど動画配信サービスが充実しているため映画館にすら足を運ぶ機会が減っていましたが、これを機にミニシアターへ実際に足を運び、普段利用してるシネマとの雰囲気と比較などをしてみたいと思ったからです。
- ・ミニシアターは昔の映画など現在放映されてない映画などが見れる場所だと思っていたが、ミニシアターでしか見れない映画があったり、今ヒットしている映画監督の昔の作品がミニシアターでのみ公開されていなかったという事実にとっても魅力を感じた為。
- ・それぞれの劇場に良さがあることがわかった
- ・どこにミニシアターがあるのかわかりやすく書いてあり、身近にミニシアターがあることがわかったから。
- ・この雑誌を読んでミニシアターに興味を持ったから今度は行ってみたいと思った。
- ・上映される作品への思い入れがあることに惹かれた。

- ・娯楽ではなく社会問題などを取り上げている映画を見てみたいと思ったし舞台挨拶などで監督や演者がどのような気持ちで役作りをしたのかを知りたいと思った
- ・ミニシアターの魅力が分かりやすく、興味深かったから
- ・ミニシアター毎に個性が違うことを知り、自分の好みのミニシアターを見つけてみたいと思ったため

【行ってみたいとは思わなかった意見】

- ・筆者もミニシアターについて勉強中という段階で書かれたこの雑誌と一緒に学んでいく感じが強く、行きたいとまではあまりならなかった。
- ・シネコンに興味を湧いてしまうから。

最後の質問では任意回答で感想をいただいた。下記に抜粋して記載する。

- ・大きい劇場との差別化をもっと存分に出すと良いと思った。
- ・めっちゃくちゃ読みやすかった！本物の雑誌みたい！インタビューとか丁寧だし、木全さんの内容も面白かった。あと、写真もレイアウトもセンスが良い。写真とかごちゃつかずに綺麗にまとめるなあって感じたし、全体のレイアウトもちょこちょこ装飾ついてたりするけど、ワンポイント！って感じで見やすかった！
- ・ミニシアターがある場所を分かりやすくまとめていたり、伝えたい部分や強調したい部分を太字にしてかつ情報力も多すぎずスッキリしたデザインで読みやすかった。
- ・デザインがシンプルで見やすかったです！
- ・インタビューでの引き出しが良い。
- ・ミニシアターの歴史、魅力が読みやすく、ミニシアターに訪れて、自分で体験したくなりました。
- ・ミニシアターとは何か？がわかりやすくまとめられおり、ミニシアター毎に個性があるというところに興味がわいた。また、シネコンとは何か？にも触れるともっとわかりやすく比較できると思う。シネコンとシネマコンプレックスという言葉は統一した方が良いと感じた。
- ・【名古屋にあるミニシアター】の構成！地図！写真が見やすい！目で見ても楽しいページである。【インタビュー】「シネマスコーレ」シネマスコーレについて事前によく調べていることが非常にわかるインタビューとなっている。シネマスコーレ愛も感じるホッカリとするインタビューで読んでいて心地よい。「大須シネマ」3人のインタビュー記事を色分けして、非常にわかりやすくまとめていて読みやすい。【コラム】莫大な情報量と抽象的な情報を、非常にうまくまとめている。4つのタイトルも作者の言いたいことがズバッと伝わりわかりやすい。

「わかりやすい、読みやすい」という意見をいくつかいただき、とても嬉しかった。また、内容に関して「シネマコンプレックスとの差別化をもっと出すと良い」という意見をいただき、世間の人が知っている情報とあまり知らない情報との比較を入れるべきだったと反省した。

17)まとめと今後の課題

上記のアンケート結果を踏まえ、過半数の人から「この雑誌を読んでミニシアターに興味を持った、ミニシアターに行ってみたいと思った」という回答を得る事ができたことから、若者にミニシアターに興味を持ってもらうという点では目的を達成することができたのではないかと考える。しかし、若者にミニシアターの魅力を伝えるまでに至るにはまだ課題があると感じた。その理由の1つとして、作者である自分自身もミニシアターに関して知り始めたばかりだったからである。いただいた意見の中に『筆者もミニシアターについて勉強中という段階で書かれたこの雑誌と一緒に学んでいく感じが強く、行きたいとまではあまりならなかった。』というものがあり、これは私の知識不足だったと感じたからである。

よって今後の課題として、私自身ももっとミニシアターに関する興味や知識を深め、ミニシアターの魅力発信に少しでも貢献していきたいと考えている。

18)使用ソフト

Adobe InDesign, Adobe Photoshop

19)参考文献・使用素材

- JTBパブリッシング,2021,『全国85劇場 ミニシアターのある街へ ~映画の余韻と楽しむお散歩ガイド~』,JTBパブリッシング
- 産経ニュース「名演小劇場、半世紀に幕 コロナで運営困難」(検索日:2023年5月9日)
<https://www.sankei.com/article/20230323-NXWKCW6MOBOK5PE6L7UBA5HCZU/>
- Wikipedia「ミニシアター」(検索日:2023年5月9日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ミニシアター>
- シネマスコーレホームページ(検索日:2023年12月5日)
<http://www.cinemaskhole.co.jp/cinema/html/>
- Wikipedia「シネマスコーレ」(検索日:2023年12月5日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/シネマスコーレ>
- ひとシネマ「『映画館は人をつなげる場所』コロナでミニシアターの存在意義を再確認 シネマスコーレ・木全純治支配人」(検索日:2023年7月12日)
https://hitocinema.mainichi.jp/article/q29_ougmd
- はたわらワイド「『現役40年の小さな映画館』シネマスコーレの映画狂スタッフが再興を目指して奮闘する理由」(検索日:2023年7月12日)
<https://hatawarawide.jp/nama/230117-1>
- シネアナゴヤ「26席のミニシアターとしてリスタート！ 名古屋駅西口のシネマスコーレが営業再開」(検索日:2023年7月12日)
<https://cineana.net/archives/9707>
- Wikipedia「若松孝二」(検索日:2023年12月19日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/若松孝二>
- 「レジェンドキュメント 復館～シネマとコロナ～」『メ～テレ』2023年2月15日放送
- テレメンタリー2023「シネマの叫び～コロナ、その先へ～」『BS朝日』2023年2月20日放送
- NHK名古屋のおすすめ「閉館相次ぐ名古屋のミニシアター 映画文化をどう守る？」(検索日:2023年11月17日)
<https://www.nhk.or.jp/nagoya/lreport/article/001/29/>
- 名古屋シネマテーク公式サイト(検索日2023年11月22日)
<http://cineaste.jp/>
- Wikipedia「名古屋シネマテーク」(検索日:2023年12月5日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/名古屋シネマテーク>
- YouTube 東海テレビ NEWS ONE「動画配信サービスの普及等で経営悪化...ミニシアターの名古屋シネマテークが7月閉館へ『ここまで来たらダメ』」2023年5月11日放送
<https://www.youtube.com/watch?v=SAIAeLOen-k>
- PR TIMES「映画館『伏見ミリオン座』2022年4月19日に移転オープン3周年」(検索日:2023年12月11日)
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000077693.html>

- 伏見ミリオン座, センチュリーシネマ公式サイト(検索日: 2023年12月11日)
<https://eiga.starcats.co.jp/>
- Wikipedia「伏見ミリオン座」(検索日: 2023年12月11日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/伏見ミリオン座>
- Wikipedia「センチュリーシネマ」(検索日: 2023年12月11日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/センチュリーシネマ>
- 名演小劇場公式サイト(検索日: 2023年12月15日)
<http://meien.movie.coocan.jp/>
- Wikipedia「名演小劇場」(検索日: 2023年12月15日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/名演小劇場>
- 港町キネマ通り「名演小劇場(港町キネマ通り)」(2023年12月15日)
<http://www.cinema-st.com/mini/m052.html>
- 岐阜新聞映画部「名演小劇場(愛知県)」(2023年12月15日)
<http://www.cinema-st.com/mini/m052.html>
- 大須シネマ公式サイト(検索日: 2023年12月11日)
<http://www.osucinema.com/>
- Wikipedia「大須シネマ」(検索日: 2023年10月25日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/大須シネマ>
- クラウドファンディング・プラットフォーム MOTION GALLERY「名古屋映画館発祥地、名古屋イチ繁華な商店街に映画館『大須シネマ』を作る！」(検索日: 2023年10月25日)
<https://motion-gallery.net/projects/osucinema>
- 「『多様性』を守りたい」『中日新聞』2023年5月20日付朝刊
- 「ミニシアターの存在意義」『中日新聞』2023年6月4日付朝刊
- 「あいち国際映画祭 名古屋で9月開催」『中日新聞』2023年7月15日付朝刊
- 「転機のミニシアター(上)コロナ支援策も尽きて デジタル映写機更新が重荷」『日本経済新聞』2023年8月21日朝刊
- 「転機のミニシアター(下)デジタル化で新世代台頭 独自買い付け、低コスト運営」『日本経済新聞』2023年8月22日朝刊
- 「柳ヶ瀬ロイヤル劇場 35ミリフィルム 灯消さぬ 客足減に老朽化 上映継続へ支援の輪」『中日新聞』2023年11月27日朝刊
- 「名古屋シネマテーク跡 新映画館 灯は消さぬ」『中日新聞』2023年12月6日朝刊
- ミニシアターパーク公式サイト(検索日: 2023年12月18日)
<http://minitheaterpark.net/>
- クラウドファンディング・プラットフォーム MOTION GALLERY「未来へ繋ごう！！多様な映画文化を営んできた全国のミニシアターをみんなで応援 ミニシアター・エイド(Mini-Theater AID)基金」(検索日: 2023年12月18日)
<https://motion-gallery.net/projects/minitheateraid>
- 映画ナタリー「濱口竜介と深田晃司がミニシアター・エイド基金の軌跡を振り返る、のんも思い明かす」(検索日: 2023年12月18日)
<https://natalie.mu/eiga/news/489948>
- SAVE the CINEMA公式サイト(検索日: 2023年12月18日)
<https://savethecinema.org/>

- ハフポスト「【1日で6000万円達成】映画監督たちのミニシアター救済。なぜ今、クラウドファンディングを始めたのか」(検索日:2023年12月18日)
https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_ip_5e93baffc5b6765e95635235
- ぴあエンタメ情報「ミニシアターが日本映画界に与えてきた影響を考える “世界の多様さ”を教えてくれる存在を失わないために」(検索日:2023年12月18日)
https://lp.p.pia.jp/shared/cnt-s/cnt-s-11-02_2_062802dc-d567-4508-94f1-3c3f238912a9.html?detail=true
- 色の名前とカラーコード、RGB、CMYKの一覧表(検索日:2023年11月27日)
<https://colorname.civillink.net/>
- Colour Palette Generator(検索日:2023年11月27日)
<https://www.colourpalettegenerator.com/>
- ICOOON MONO
<https://icooon-mono.com>
- フキダシデザイン
<https://fukidesign.com>